



増 毛 町

町 勢 要 覧 資 料 編

〈令和6年〉



増毛町フォトコンテスト2023 一般の部 最優秀賞「暑寒別岳 春の訪れ」(飯田泰理さん)

I. 自然・地勢



増毛町は、北海道の北西の日本海に面し、留萌振興局管内の南端に位置しています。

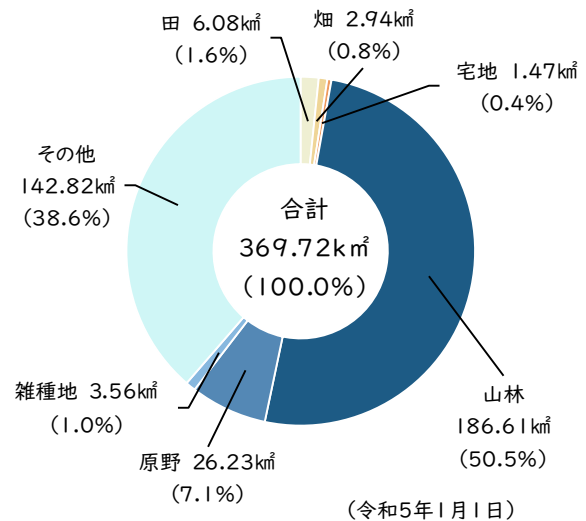
東は留萌市、南は暑寒別岳を主峰とする増毛山地を囲む形で、北竜町・雨竜町・新十津川町・石狩市に接しています。

南北に約24.4km、東西に約30.2km、北西には約38kmの海岸線を有し、総面積は369.72km²で東京都の約6分の1の広さですが、半分は山林となっています。

●面積・位置

面積	位置	
	経度（東経）	緯度（北緯）
369.72km ²	最東 141°42'17" （東仁奈良）	最南 43°41'04" （群別岳東南）
	最西 141°20'15" （鮭島）	最北 43°54'12" （阿分一番村川岸）

●土地利用面積



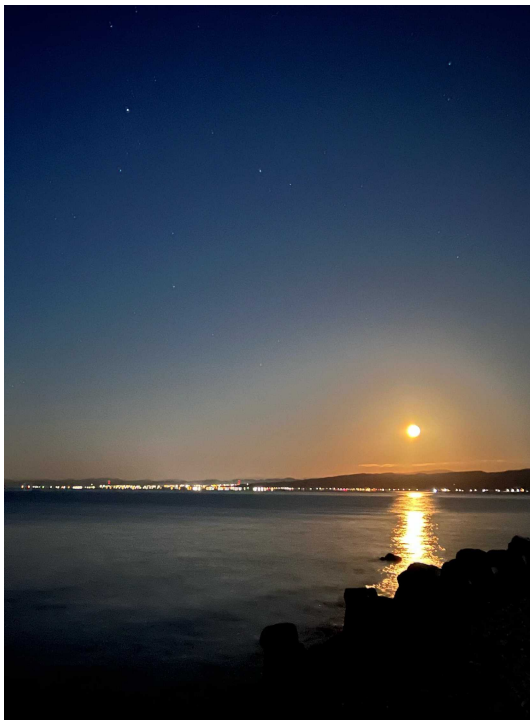
●暑寒別天売焼尻国定公園の概要

(平成2年指定、全国55番目)

(単位: ha)

暑寒別地域	石狩市	8,686
	新十津川町	7,020
	雨竜町	7,080
	北竜町	1,846
	増毛町	17,846
	小計	42,478
天売焼尻地域	羽幌町	1,081
6市町	合計	43,559

公園の総面積は43,559haで、暑寒別岳連峰、雨竜沼湿原、雄冬・浜益・厚田海岸を含む暑寒別地域42,478haと天売・焼尻両島からなる天売焼尻地域1,081haに大きく分けられます。



増毛町フォトコンテスト2023 学生の部 最優秀賞
「みんなを虜にする月」(大井月星さん)



増毛町フォトコンテスト2023 一般の部 優秀賞「訪れて」(関口峰樹さん)

山地から北流する河川は、短く急流で狭い堆積平野をつくり、この平野と海岸線に集落が発達しました。

沿岸は豊富な魚類に恵まれ、古くから漁業で栄え、また、温暖な気候により、肥沃な平坦地では水稲・果樹栽培などの農業も盛んです。

別荘から雄冬までの海岸は、暑寒別岳連峰の山裾を日本海の荒波が削った豪壮な絶壁が約20kmにわたって続いており、奇岩怪石の海蝕崖として、暑寒別天売焼尻国定公園の重要な景勝地となっています。

気候は、概して日本海岸気候の特徴を有し、年間を通じて風の強い日が多く、特に冬季はしばしば暴風雪となります。四季における気候は、冬季が湿潤寒冷で、夏季は短いものの気温は高く、春季及び初夏には空気が乾燥し、晩夏から秋にかけて多雨となります。

●気温・降水量・風速・積雪

(令和5年)

	平均 気温 (℃)	月最高 気温 (℃)	月最低 気温 (℃)	降水量 (mm)	平均 風速 (m/s)	最深 積雪 (cm)
1月	-3.9	10.9	-13.7	35.5	6.3	174
2月	-2.7	9.6	-14.8	43.0	5.3	127
3月	4.5	17.0	-4.3	49.0	4.1	7
4月	8.1	20.4	-0.3	73.5	5.0	-
5月	12.3	24.0	2.4	35.5	3.7	-
6月	17.7	28.8	6.6	81.5	2.5	-
7月	22.1	32.4	13.5	29.5	2.8	-
8月	25.2	33.4	17.1	115.0	2.4	-
9月	20.1	28.5	11.0	175.0	2.9	-
10月	12.7	21.8	3.0	217.0	4.4	-
11月	6.7	20.9	-4.9	157.0	6.9	52
12月	-0.4	12.9	-6.7	107.5	6.8	248
令和5年平均	10.2			93.3	4.4	
令和4年平均	9.4			81.0	4.4	
令和3年平均	9.5			93.6	4.5	
令和2年平均	9.2			91.7	4.3	
令和元年平均	9.0			69.8	4.6	

旭川地方気象台データより(※最深積雪値は、留萌市データを参考記載)

2. 人口

●人口の推移

(令和2年国勢調査)

調査年	人口			世帯数
	男	女	計	
昭和10年	5,347	5,544	10,891	2,108
昭和15年	4,770	5,008	9,778	1,903
昭和20年	6,773	7,224	13,997	2,656
昭和25年	8,283	8,269	16,552	2,764
昭和30年	8,352	8,416	16,768	2,817
昭和35年	7,226	7,431	14,657	2,850
昭和40年	6,318	6,745	13,063	2,912
昭和45年	5,216	5,746	10,962	2,851
昭和50年	4,349	4,963	9,312	2,727
昭和55年	3,895	4,424	8,319	2,693
昭和60年	3,753	4,258	8,011	2,686
平成2年	3,328	3,838	7,166	2,606
平成7年	3,060	3,592	6,652	2,512
平成12年	2,797	3,370	6,167	2,461
平成17年	2,563	3,145	5,708	2,389
平成22年	2,295	2,783	5,078	2,208
平成27年	2,024	2,473	4,497	2,051
令和2年	1,776	2,132	3,908	1,878

※国勢調査の人口・世帯数：総務省統計局発表のデータより

●住民基本台帳人口

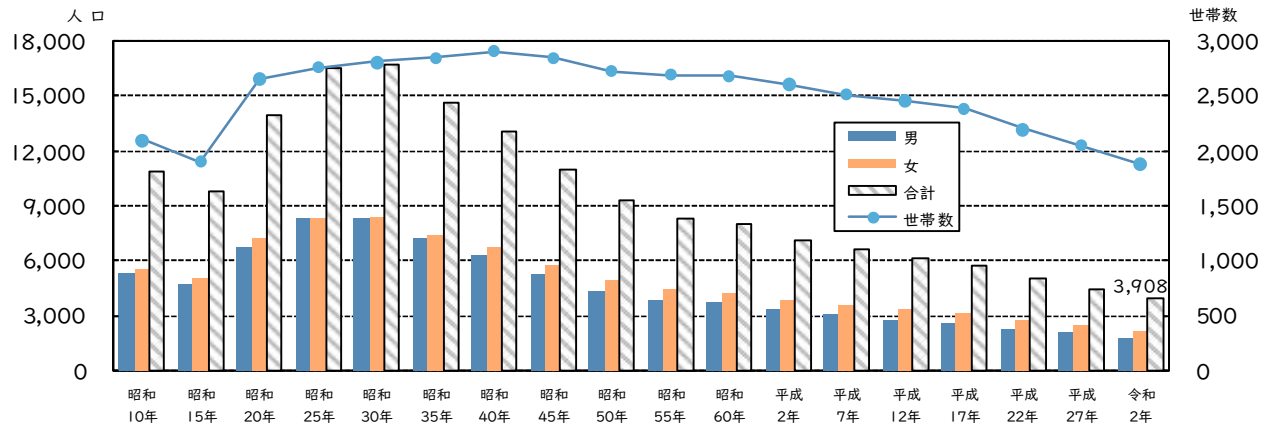
(各年3月31日)

調査年	男	女	人口総数	世帯数	1世帯当たり人員
平成26年	2,253	2,705	4,958	2,533	1.96
平成27年	2,192	2,630	4,822	2,460	1.96
平成28年	2,146	2,547	4,693	2,413	1.94
平成29年	2,072	2,465	4,537	2,368	1.92
平成30年	2,004	2,388	4,392	2,322	1.89
平成31年	1,953	2,330	4,283	2,273	1.88
令和2年	1,913	2,271	4,184	2,242	1.87
令和3年	1,860	2,215	4,075	2,217	1.84
令和4年	1,781	2,127	4,075	2,136	1.91
令和5年	1,746	2,075	3,821	2,137	1.79

昭和20年代後半から30年代後半にかけて1万6千人を数えた人口は、減少の一途をたどり、令和2年の国勢調査では昭和30年と比べて4分の1以下となっています。

また昭和30年の国勢調査では平均世帯員数は6.0人ですが、令和2年では2.1人となり、核家族化が進んでいます。

●国勢調査による人の動き



令和6年1月7日開催 成人式

●男女別・年齢別人口

(令和5年3月31日)

年 齢	男	女	計	比 率
0～4 歳	37	39	76	2.0%
5～9 歳	44	46	90	2.4%
10～14 歳	76	54	130	3.4%
15～19 歳	64	65	129	3.4%
20～24 歳	70	57	127	3.3%
25～29 歳	48	52	100	2.6%
30～34 歳	67	63	130	3.1%
35～39 歳	74	73	147	3.8%
40～44 歳	85	105	190	5.0%
45～49 歳	128	98	226	5.9%
50～54 歳	116	114	230	6.3%
55～59 歳	128	109	237	6.2%
60～64 歳	133	143	276	7.2%
65～69 歳	129	158	287	7.5%
70～74 歳	183	248	431	11.3%
75～79 歳	132	185	317	8.3%
80～84 歳	115	181	296	7.7%
85～89 歳	63	145	208	5.4%
90歳 以上	54	140	194	5.1%
合 計	1,746	2,075	3,821	100.0%

●地域別世帯数及び人口

(令和2年国勢調査)

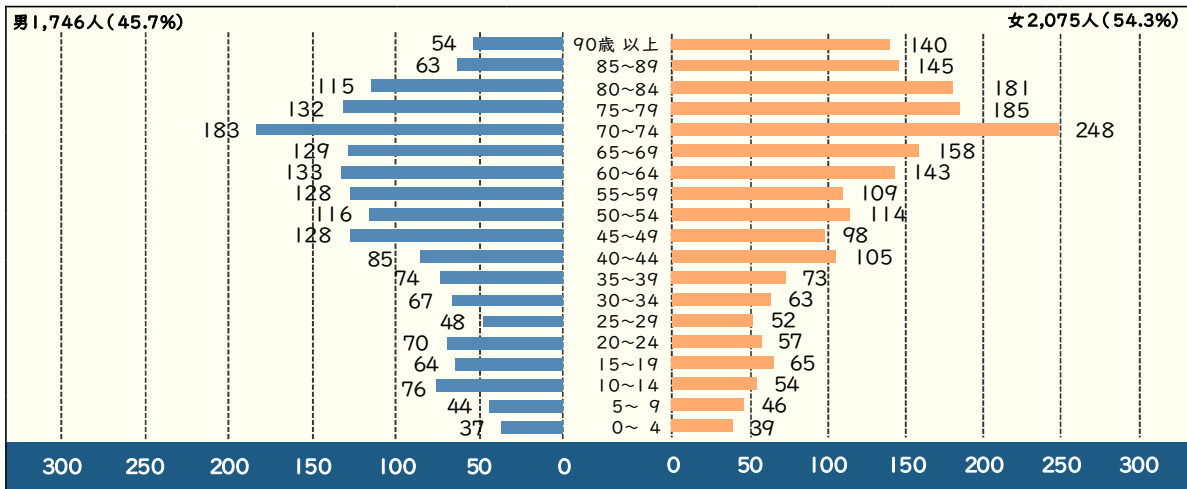
地 域	男	女	人 口 数	世 帯 数	1世帯当 たり人員
雄 冬	18	16	34	17	2.0
岩 老	9	5	14	7	2.0
別 苅	156	204	360	187	1.9
暑 寒	44	47	91	36	2.5
市 街	1,061	1,256	2,317	1,136	2.0
中 歌	17	17	34	16	2.1
見 晴	78	118	196	70	2.8
湯 の	8	6	14	6	2.3
箸 別	49	67	116	54	2.2
舎 熊	169	189	358	178	2.0
阿 分	115	161	276	125	2.2
信砂・御料	52	46	98	46	2.1
計	1,776	2,132	3,908	1,878	2.1

注：見晴町は、老人ホーム明和園を含んでいます。

年齢構成では65歳以上の人口が45.3%と高齢化が進んでおり、人口ピラミッドでみると、65歳以上の女性が特に多くなっており、女性の高齢化率は50.9%となっています。

また、人口の約6割が市街地区に居住しています。

●人口ピラミッド



令和5年6月17日開催
こども園 運動会

令和5年6月11日開催
増毛小学校 運動会



令和5年6月3日開催
増毛中学校 体育祭



3. 町議会・行政組織



議長 飛内 眞吾



副議長 松倉 清道

●歴代 議会議長

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	加 納 次 太 郎	昭 和 21.10.27
2	池 田 良 作	22. 5.15
3	田 谷 克 三	30. 5.13
4	毛 利 賢 蔵	38. 5.10
5	本 間 泰 次	39. 1.23
6	北 野 繁 夫	46. 5. 6
7	小 笠 原 秀 夫	47.12. 1
8	佐々木 清 治	58. 5. 9
9	清 野 勇	平 成 11. 5. 7
10	佐 藤 善 一	23. 5. 9
11	飛 内 眞 吾	令 和 元. 5. 8

●議会議員

任期：令和5年5月1日～令和9年4月30日

議席	議 員 名	職 業	党 派	所 属 委 員 会	当 選 回 数
1	合羽井 達男	会 社 役 員	無 所 属	産 業	2
2	川 島 優	無 職	無 所 属	総 務	2
3	酒 井 倫 明	無 職	無 所 属	産 業◎ 議 運○	3
4	大 井 紀 美 恵	会 社 員	無 所 属	総 務◎ 議 運	3
5	上 野 剛	無 職	無 所 属	産 業○ 議 運	5
6	菅 原 幸 弘	税 理 士 事 務 所 員	無 所 属	総 務	5
7	小 田 緑	会 社 役 員	無 所 属	総 務○ 議 運◎	6
8	岩 崎 俊 一	小 売 業	無 所 属	総 務	8
9	松 倉 清 道	会 社 役 員	無 所 属	副 議 長 産 業 議 運	4
10	飛 内 眞 吾	漁 業	無 所 属	議 長	6

※総務-総務文教常任委員会／産業-産業厚生常任委員／議運-議会運営委員会
◎委員長、○副委員長

●歴代 議会副議長

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	不 明	
2	水 戸 徳 司	昭 和 22. 5.15
3	堀 川 寛 一	25. 8.13
4	上 原 福 太 郎	30. 5.13
5	毛 利 賢 蔵	34. 5. 8
6	本 間 泰 次	38. 5.10
7	佐々木 清 治	39. 1.23
8	北 野 繁 夫	40. 4.30
9	佐々木 清 治	46. 5. 6
10	川 向 之 夫	47.12. 1
11	富 野 安 造	58. 5. 9
12	南 博 之	平 成 11. 5. 7
13	佐 藤 善 一	15. 5. 8
14	岩 崎 俊 一	23. 5. 9
15	小 田 緑	令 和 元. 5. 8
16	松 倉 清 道	令 和 5. 5.11

●町議会審議の状況

議会事務局調（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

区 分	開 催 回 数	会 議 日 数	審 議 案 件							請 願 陳 情
			条 例	予 算	決 算	専 決 処 分	そ の 他 事 件	計	決 議 意 見 書	
定 例 会	4	10	31	46	12	0	13	102	4	2
臨 時 会	4	4	1	1	-	3	13	18	-	-
計	8	14	32	47	12	3	26	120	4	2



副町長 杉山 聡



町長 堀 雅志



教育長 佐藤 敏治

●歴代 町長

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	蔭 山 逸 夫	明治 33. 9. 17
2	水 谷 嘉 一郎	37. 12. 1
3	大 浦 頼	大正 4. 4. 12
4	御 厨 三 郎	8. 9. 3
5	石 川 七 郎	10. 9. 17
6	勝 田 誠 一	13. 3. 20
7	加 納 宇 平	昭和 8. 8. 19
8	北 畠 良 一	12. 12. 30
9	尾 谷 清 四 郎	16. 12. 20
10	中 江 庄 三 郎	21. 2. 7
11	東 尾 淡 逸	22. 4. 8
12	中 江 庄 三 郎	30. 5. 1
13	前 田 尉 太 郎	38. 5. 1
14	本 間 泰 次	50. 5. 1
15	石 崎 大 輔	平成 11. 2. 13
16	堀 雅 志	27. 2. 13

●歴代 教育長

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	帰 山 貢	昭和 27. 11. 1
2	米 田 秀 蔵	44. 4. 1
3	佐々木 孫 作	52. 10. 1
4	黒 瀧 善 雄	60. 10. 1
5	別 段 正 道	平成 5. 10. 1
6	佐 藤 順 治	13. 10. 1
7	雨 野 正 治	15. 4. 1
8	尾 池 宏 実	21. 10. 1
9	荻 原 太 康	25. 4. 1
10	佐 藤 敏 治	27. 4. 1

●歴代 収入役

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	長 谷 川 濟	明治 39. 9. 20
2	和 井 内 喜 之	41. 3. 31
3	佐 藤 平 太 郎	大正 5. 1. 11
4	佐 藤 兼 次	13. 1. 30
5	竹 山 福 三	昭和 7. 2. 2
6	末 永 議 資	13. 9. 29
7	安 達 多 仁 治	16. 2. 3
8	小 杉 善 一 郎	22. 5. 15
9	西 川 勝 二	30. 6. 29
10	押 味 清 一	46. 9. 18
11	梅 田 忠 夫	52. 7. 1
12	山 崎 末 吉	63. 4. 1
13	松 本 弘	平成 5. 4. 1
14	村 木 忠 夫	11. 4. 1

※平成15年4月1日以降は副町長(助役)が兼掌
 ※平成19年3月31日で収入役制度は廃止

●歴代 副町長(助役)

代位	氏 名	就 任 年 月 日
1	樋 口 金 蔵	明治 33. 9. 17
2	我孫子 利三郎	39. 10. 18
3	高 橋 竜 太 郎	大正 4. 8. 6
4	田 村 栄	12. 11. 20
5	佐 藤 敬 之 助	13. 12. 27
6	東 尾 淡 逸	昭和 8. 10. 10
7	川 口 時 一 郎	17. 7. 10
8	青 野 績	21. 5. 31
9	安 達 多 仁 治	22. 5. 15
10	帰 山 貢	24. 10. 28
11	前 田 尉 太 郎	29. 5. 27
12	長 屋 清 作	38. 8. 19
13	大 室 重 二	46. 9. 18
14	南 平 作	52. 7. 1
15	三 上 晴 夫	平成 3. 5. 21
16	朝 倉 宜 廣	11. 3. 5
17	佐 藤 順 治	15. 3. 5
18	酒 井 倫 明	23. 3. 5
19	石 垣 芳 夫	27. 4. 1
20	杉 山 聡	令和 5. 4. 1

H19.4.1 名称変更

●選挙有権者

(町選挙管理委員会 毎年9月1日)

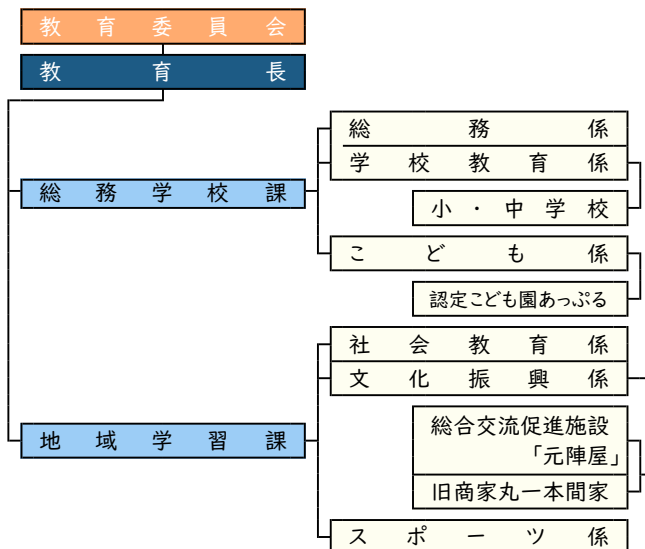
区 分	投票 区数	登 録 者 数 (人)		
		総 数	男	女
令和元年	9	3,748	1,688	2,060
令和2年	9	3,629	1,645	1,984
令和3年	9	3,541	1,600	1,941
令和4年	9	3,438	1,548	1,890
令和5年	9	3,326	1,507	1,819

●行政組織

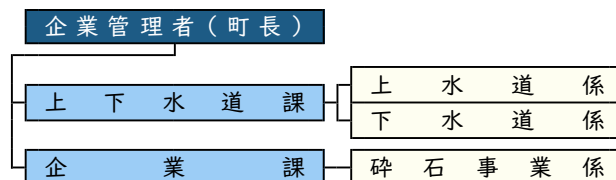
令和5年12月1日 職員数135人
(特別職を除き、消防職員を含む)



●教育委員会組織



●公営企業



各種委員会等事務局

- 議会事務局
- 選挙管理委員会事務局
- 監査委員事務局
- 農業委員会事務局

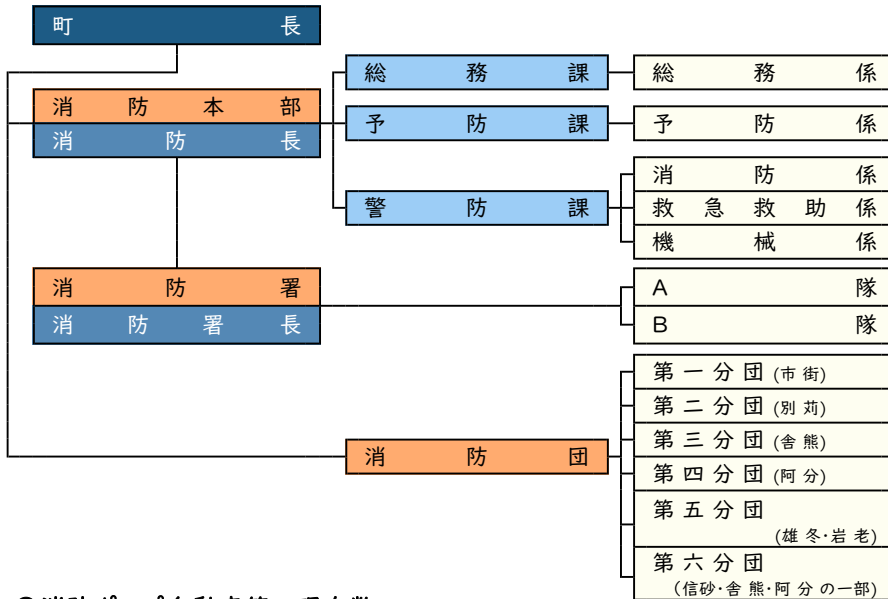
●各地域の指定状況

- ・豪雪地帯対策特別措置地域 昭和46年10月2日 第41号
- ・特定農山村地域 平成5年9月28日 第72号
- ・過疎地域 平成22年3月17日 第3号



4. 消 防 ・ 防 災

●消防組織



●消防人員

(令和5年12月1日)

職 員	区 分	人 数
員	司 令 長	1
	司 令 補	3
	司 令 長	3
	副 士 長	4
	副 士 長	3
	消 防 士	4
計		18
団 員	団 長	1
	副 団 長	2
	分 団 長	6
	副 分 団 長	7
	部 長	14
	班 長	24
計		91

●消防ポンプ自動車等の現有数

(令和5年12月1日)

消 防 署	大 型 水 槽 車	1
	水 槽 車	1
	消 防 ポ ン プ 付 車	1
	救 助 工 作 車	1
	作 業 車	1
	指 揮 車	1
	救 急 車	2
消 防 団	小 型 ポ ン プ 付 積 載 車	5
	普 通 ポ ン プ 自 動 車	1

●火災発生状況

区 分	火災 件数	損 害 額 (千 円)	焼 失 面 積 (㎡)
令 和 3 年	3	19	229.00
令 和 4 年	1	1,000	29.62
令 和 5 年	3	2,262	300.00

●消防水利用

(令和5年12月1日)

消 火 栓	111
防 火 水 槽	47
消 防 用 水 路	3
そ の 他 の 消 防 用 指 定 水	24

●救急出動件数

区 分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
令和3年	1	0	1	7	1	0	42	0	1	144	2	199
令和4年	0	0	0	7	4	0	31	0	1	167	7	217
令和5年	1	0	0	9	4	0	46	0	2	178	10	250



●指定緊急避難場所

No.	名 称	所 在 地
1	旧 阿 分 小 学 校	阿 分
2	旧 舎 熊 小 学 校	舎 熊
3	町道朱文別道路線・揚水機場の上	舎 熊
4	箸 別 跨 線 橋 付 近 広 場 (町道箸別2号道路線の国道交点付近)	箸 別
5	湯 の 沢 会 館 付 近	箸 別
6	町 民 グ ラ ウ ン ド	見 晴 町
7	旧 増 毛 小 学 校 グ ラ ウ ン ド	見 晴 町
8	増 毛 中 学 校 グ ラ ウ ン ド	南 暑 寒 町
9	増 毛 小 学 校 グ ラ ウ ン ド	南 暑 寒 町
10	小 樽 間 内 会 館	別 荘
11	オ ー ベ ル ジ ュ ま し け	別 荘
12	岩 尾 温 泉 あ っ た ま ～ る 駐 車 場	岩 老
13	旧 雄 冬 自 然 体 験 館 グ ラ ウ ン ド	雄 冬

●指定避難所

No.	名 称	所 在 地
1	旧 阿 分 小 学 校	阿 分
2	元 阿 分 福 社 会 館	阿 分
3	信 砂 生 活 改 善 セ ン タ ー	信 砂
4	旧 舎 熊 小 学 校	舎 熊
5	笹 沼 会 館	舎 熊
6	箸 別 生 活 館	箸 別
7	増 毛 中 学 校	南 暑 寒 町
8	文 化 セ ン タ ー	南 島 中 町
9	オ ー ベ ル ジ ュ ま し け	別 荘
10	小 樽 間 内 会 館	別 荘
11	海 音 寺	別 荘
12	大 別 荘 自 治 会 館	別 荘
13	岩 尾 へ き 地 保 健 福 祉 館	岩 老
14	旧 雄 冬 自 然 体 験 館	雄 冬

5. 産 業

増毛町は、ニシン漁を中心とする漁業で栄えましたが、昭和30年をピークに人口は減少し、昭和40年まで過半数を占めていた第一次産業の就業人口も減退していききました。

過疎化に伴い、水産加工業を主とした製造業や、卸売・小売業も減少しておりますが、「増毛の歴史的建物群」が北海道遺産に指定されてからは、旧増毛駅周辺の観光客は増加傾向にあり、新しい飲食店が開業するなどの賑わいを見せ始めています。



令和5年5月27日～28日開催 春の味まつり

●商業

(単位:人、百万円)

区 分	平成 26 年			平成 28 年			令和 3 年		
産業別分類	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	総数
事業所数	9	41	50	7	41	48	9	37	46
従業員数	30	182	212	35	144	179	37	143	180
年間販売額	4,179	3,702	7,881	4,773	2,369	7,142	2,367	1,622	3,989

H26「商業統計調査」7月1日現在 ※これを以て「商業統計調査」は廃止

H28「経済センサス」6月1日現在

R3「経済センサス」6月1日現在



●砕石生産高

町営黒岩砕石事務所分

(金額単位:千円)

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	数量(m ³)	金額	数量(m ³)	金額	数量(m ³)	金額
切込砕石	9,754	18,004	5,613	9,904	13,818	25,981
篩砕石	8,670	23,143	10,660	26,190	8,253	20,015
割石	26,225	73,455	19,342	47,200	28,988	76,470
計	44,649	114,602	35,615	83,294	51,060	122,466

説明:切込砕石…石粉の入っているもの / 篩(ふるい)砕石…石粉の入っていないもの
割石…大割・中割・小割・雑割

●工業

(単位:人、万円)

区 分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
事業所数	11	11	16
従業員数	421	364	367
製品等出荷額	1,077,433	1,016,041	900,832

「工業統計調査」より

R3「経済センサス」※経済センサス実施年は工業統計調査は中止

R4「経済構造実態調査」R4より工業統計調査は廃止され、経済構造実態調査に包括

●産業団体

(令和5年12月1日)

団 体 名	組合員及び 会員数	役員	職員
増毛漁業協同組合	109 (5)	11	16
南るもい農業協同組合 増毛支所	88 [175]	1	7
増毛水産加工協同組合	6	5	1
増毛町商工会	156 (14)	19	4

※()は準組合員で内数
[]は準組合員で外数

●観光客入込数

(単位:千人)

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
215	213	245

●産業別就業者数

(令和2年国勢調査)

第 1 次	分 類	男	女	計
	農 業	88	77	165
第 2 次	林 業	8	1	9
	漁 業	161	76	237
第 3 次	小 計	257	154	411
	鉱 業	1	-	1
第 3 次	建設 業	180	17	197
	製造 業	101	180	281
第 3 次	小 計	282	197	479
	電 気 ・ ガ ス	9	2	11
第 3 次	熱 供 給 ・ 水 道 業	69	10	79
	通 信 ・ 運 輸 業	108	175	283
第 3 次	卸 売 ・ 小 売 業	7	9	16
	飲 食 店 ・ 宿 泊 業	3	2	5
第 3 次	金 融 ・ 保 険 業	48	178	226
	不 動 産 業	31	54	85
第 3 次	医 療 ・ 福 祉	8	5	13
	学 術 ・ 学 習 支 援 業	27	21	48
第 3 次	専 門 ・ 技 術 サービス 業	35	17	52
	生 活 関 連 サービス 業	69	36	105
第 3 次	複 合 サービス 事 業	112	27	139
	サ ー ビ ス 業	526	536	1,062
第 3 次	公 務 な ど	6	5	11
	小 計	1,071	892	1,963
第 3 次	分 類 不 能 産 業			
	合 計			

6. 農 業

増毛町は、北緯43度以北に位置しながらも、日本海を流れる対馬海流による温暖な気候と、暑寒山麓に囲まれた扇状地帯の良質な水に恵まれているため、果樹と稲作を中心に農業が営まれています。

7月のさくらんぼに始まり、8月はプルーン、秋にはぶどう、洋梨、りんごなど甘くみずみずしい果物に加え、「ななつぼし」や「ゆめぴりか」を主とする低たんぱく米が収穫されています。



●経営耕地面積規模別経営体数

区 分	0.3ha未満	0.3～1.0ha	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0～20.0ha	20.0～30.0ha	30.0ha以上
販 売 農 家	61	0	7	9	9	10	11	8	5
自給的農家	18								
計	79								

「2020年 農林業センサス」より

●経営耕地別面積

区 分	面積 (ha)	割合 (%)
田 稲 作 を 行 っ た	334.0	67.47
畑 普 通 畑	77.0	15.56
畑 牧 草 専 用 地	0.0	0.00
畑 小 計	77.0	15.56
樹 園 地	84.0	16.97
合 計	495.0	100.0

「2020年 農林業センサス」より



●年齢別世帯員数

区 分	14歳以下	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	計
男	7	3	3	10	9	8	21	20	81
女	9	3	3	10	7	8	23	15	78
計	16	6	6	20	16	16	44	35	159

「2020年 農林業センサス」(販売農家のみ・家族経営の世帯員)

●農作物の作付け面積・収穫量

(単位: ha, t)

区 分	令 和 2 年		令 和 3 年		令 和 4 年	
	作付面積	収 穫 量	作付面積	収 穫 量	作付面積	収 穫 量
水 稲	229	1,160	233	1,120	253	1,230
そ ば	126	101	127	114	115	46

「北海道農林水産統計年報」より

●森林面積

(令和4年4月1日/単位: ha)

区 分	総 数	国 有 林	道 有 林	町 有 林	私 有 林
森 林 面 積	33,261	11,255	14,634	1,591	5,781
天 然 林	25,279	9,154	12,501	676	2,947
人 工 林	5,264	916	885	855	2,608
無立木地	2,718	1,185	1,248	59	226

※端数処理のため、総数と内訳が一致しない場合があります。

増毛町フォトコンテスト2023 学生の部
優秀賞「小さい時見つけた」(新田美波さん)

7. 漁 業

増毛町は、江戸時代中期から豊富な水産資源に恵まれ、漁業のまちとして栄えてきました。現在は、えび・たこ・鮭・カレイなどの漁業を中心とし、特に甘えびは全国有数の水揚げ量を誇ります。日本海の荒波に育まれ、水深の浅い栄養豊富な漁場で漁獲されるため、甘みも食感も格別であり、全国でも高い評価を得ています。また、ホタテの養殖も盛んであり、採卵から稚貝育成までを行い、オホーツク沿岸の漁協へと出荷しています。

近年の漁業をめぐる環境や、後継者不足という問題対策のために、磯焼け対策、栽培漁業の推進、新たな漁場の造成や後継者育成のための経営基盤の強化などに取り組んでいます。

●魚種別漁獲高

(令和4年)

区 分		数 量		金 額	
		ト ン	%	千 円	%
魚 類	さ け	189	3.32	107,394	3.31
	ま す	5	0.09	2,864	0.09
	た ら	367	6.28	84,980	2.62
	すけそうたら	116	2.04	7,980	0.25
	ほ っ け	53	0.93	3,535	0.11
	ひ ら め	26	0.46	22,275	0.69
	か れ い	458	8.04	140,157	4.33
	そ 他 魚 類	298	5.23	152,279	4.70
小 計		1,512	28.01	521,464	16.10
水 産 動 物	う に	40	0.70	49	0.00
	え び	253	4.44	624,682	14.80
	い か	0	0.00	0	0.02
	生 た こ	424	7.44	591,841	18.27
	な ま	33	0.58	172,426	5.32
	か に	0	0.01	1,132	0.03
	小 計		750	13.17	1,390,130
貝 類	あ わ び	0	0.01	2,058	0.06
	ほ た て 貝	732	12.85	300,856	9.29
	ほ た て 稚 貝	2,690	47.23	1,020,855	31.51
	そ 他 貝 類	11	0.19	4,447	0.14
	小 計		3,433	60.28	1,328,216
合 計		5,696	100.00	3,239,810	100.00

●漁船隻数〔登録漁船〕

(令和4年度)

動 力 船 (+)	隻 数
～ 0.9	98
1 ～ 2.9	5
3 ～ 4.9	38
5 ～ 9.9	8
10 ～ 19.9	15
20 ～ 49.9	0
50 ～ 99.9	0
100 ～	0
総 隻 数	164



●年齢別漁業就業者数

区 分	15～ 24 歳	25～ 34 歳	35～ 44 歳	45～ 54 歳	55～ 64 歳	65～ 74 歳	75 歳 以上	計
男女計	3	34	28	29	22	19	24	159

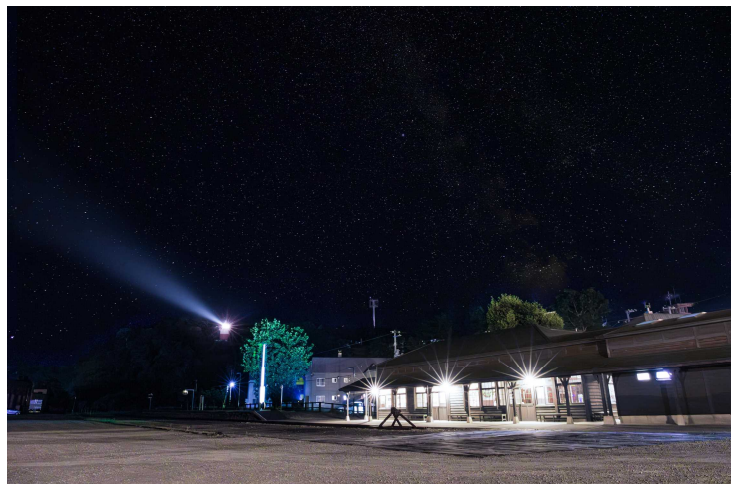
「2018年 漁業センサス」より

●さけ 親魚捕獲・稚魚放流・採卵実績

(単位:親魚[尾] 稚魚[千尾] 採卵[千粒])

区分	令 和	暑 寒 別 川	信 砂 川	計
親 捕 獲 魚 数	3	2,907	10,467	13,374
	4	9,474	18,675	28,149
	5	12,248	8,803	21,051
稚 放 流 魚 数	3	10,118	5,829	15,947
	4	9,950	5,659	15,609
	5	9,871	5,577	15,448
採 卵 数	3	2,911	11,728	14,639
	4	5,175	10,132	15,307
	5	6,875	8,359	15,234

※留萌管内さけます増殖事業協会より



増毛町フォトコンテスト2023 一般の部
優秀賞「星景」(小笠原潤さん)

令和3年に完成した増毛港の屋根付き岸壁により、衛生管理向上や就労環境改善効果が確認され、サケを中心とした水産物の輸出促進が期待されています。



令和3年完成 増毛港の屋根付き岸壁

●港勢

(令和4年)

港 名	陸 揚 量		経営体 (組合員数) (人)	漁 家 戸 数 (戸)
	数量(↑)	金額(千円)		
地方港湾 増毛港	5,182.0	2,441,669	51	36
4種漁港 雄冬漁港	32.3	36,014	5	5
1種漁港 岩老漁港	79.9	65,501	7	5
別苅漁港	880.0	603,986	42	36
阿分漁港	15.3	56,366	6	6
計	6,189.5	3,203,536	111	88

●船種別入港船舶

(令和4年度)

区 分	隻 数	総トン数
商 船	0	0
漁 船	7,737	81,296
そ の 他	28	8,265
避 難 船	0	0
計	7,765	89,561

[地方港湾 増毛港分]



令和5年9月24日開催 秋の味まつり

●航路標識

(令和5年12月1日)

名 称	所 在 地	塗 色 と 構 造	灯 質	灯 高 (水面上)	実 効 光 度	光 達 距 離 (海 里)	開 設 年 月
増 毛 灯 台	弁 天 町	白地に赤横帯1本 塗塔形(コンクリート造)	単閃白赤互光 毎16秒に白1・赤1閃光	46 m	白光 140,000 cd 赤光 24,000 cd	白光 18.5 赤色 16.0	明治23年12月
増毛港北防波堤灯台	増毛港北防外端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	14 m	78 cd	5.0	昭和4年5月
雄冬港島防波堤北灯台	雄冬港島防北端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	15 m	78 cd	5.0	昭和51年10月
別苅港北防波堤灯台	別苅港北防外端	赤色塔形(コンクリート造)	単閃赤光/毎4秒に1閃光	14 m	25 cd	3.5	平成元年11月

※1海里は、約1.850m

8. 福祉・医療・保健



令和4年完成 町立明和園 新施設

増毛町は、全国、全道と比べ高齢化が進んでおり人口のおよそ45%が65歳以上となっていますが、全国、全道よりも高い各種健診受診率と、町民の生活実態に寄り添った健康づくりによって、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

また、令和4年11月に「養護・特別養護老人ホーム 増毛町立明和園」の新施設が完成し、高齢者の方でも安心して暮らせるまちづくりをすすめています。

●生活会館・各センター

(令和5年12月1日)

施設名	規模	所在地	設置年月日
生 活 会 館			
箸別生活館	163 m ²	箸別133番地の8	昭和47.7.28
中歌生活館	97 m ²	見晴町4番地の3	昭和50.10.28
元阿分福祉会館	315 m ²	阿分226番地の10	平成元.8.3
中歌協和会館	228 m ²	中歌204番地の5	昭和51.9.20
谷地町会館	129 m ²	別荘605番地の31	昭和53.12.14
大別荘会館	165 m ²	別荘96番地	昭和58.10.8
津田屋会館	167 m ²	別荘78番地の26	昭和60.11.7
朱文別会館	155 m ²	舎熊199番地の2	平成2.12.10
雄冬生活館	314 m ²	雄冬43番地の1	平成2.12.10
はまなす会館	211 m ²	暑寒町2丁目88番地	平成4.3.7
暑寒沢会館	139 m ²	暑寒沢418番地の1	平成4.9.10
阿分会館	372 m ²	阿分116番地	平成20.4.1
農村生活施設			
湯の沢会館	74 m ²	箸別981番地	昭和49.8.6
笹沼会館	74 m ²	舎熊1029番地の68	昭和50.9.1
黒岩尻共栄会館	74 m ²	別荘836番地の31	昭和51.10.22
信砂生活改善センター	234 m ²	信砂581番地の11	昭和52.10.1
漁村センター	549 m ²	港町46番地の2	昭和54.10.22
老人福祉センター	588 m ²	南島中町2丁目27番地の1	昭和56.11.27
舎熊寿の家	100 m ²	舎熊253番地の3	昭和53.9.25
岩尾へき地保健福祉館	166 m ²	岩老171番地	昭和43.8.30

●町立養護・特別養護老人ホーム明和園入所者数

(令和5年12月1日)

年齢別	養護(人)			特別養護(人)			計
	男	女	小計	男	女	小計	
70～79歳	1	1	2	2	1	3	5
80～89歳	3	7	10	2	8	10	20
90～99歳	2	12	14	1	5	6	20
100歳以上	-	1	1	-	4	4	5
計	6	21	27	5	18	23	50

●福祉寮

(令和5年12月1日)

施設名	人数(人)			所在地	設置年月日
	定員	入居	管理人		
老人福祉寮 やすらぎ荘	6人	3人	2人	南永寿町3丁目284番地	昭和53.9.25

●市街診療所及び雄冬へき地診療所診療状況

年度	市街診療所				雄冬へき地診療所	
	入院		外来		外来	
	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数
令和2年度	1,366	3.7 (365)	8,092	22.2 (365)	145	6.0 (24)
令和3年度	957	2.6 (365)	7,484	20.5 (365)	136	5.7 (24)
令和4年度	1,125	3.1 (365)	7,729	21.2 (365)	119	6.6 (18)

※(括弧)はそれぞれの診療日数を記載しています。

※市街診療所外来患者数には、明和園の診察者数を含んでいます。

※雄冬へき地診療所について、R4年度から奇数月1回、偶数月2回の診療で合計18回へ変更しています。

●社会福祉団体

(令和5年12月1日)

団体名	団体数	会員数
民生委員協議会	1	23
老人クラブ	7	138
母子会	1	12
遺族会	1	19
増毛町社会福祉協議会	1	307
身体障害者福祉協会	1	35
ボランティアセンター	1	25
生きがい活動事業団	1	32

●生活保護費支出額

(令和4年度)

区分	金額(千円)
生活扶助費	31,020
住宅扶助費	8,020
教育扶助費	195
介護扶助費	73
医療扶助費	1,210
生業扶助費	66
葬祭扶助費	0
計	40,584

●被保護世帯・人員調

(令和5年4月1日)

区分	世帯数・人数
被保護世帯数	60 世帯
被保護人員	83 人

●介護保険加入状況 (令和5年11月30日)

総人口	被保険者数	加入率
3,624	1,713	47.27 %
介護サービス受給者数		301 人
居宅介護サービス		218 人
地域密着型サービス		34 人
施設介護サービス		49 人



●介護保険給付状況 (令和4年度)

区分	給付件数	金額(千円)
居宅介護サービス費	4,920	276,125
地域密着型介護サービス費	367	57,029
施設介護サービス費	669	154,893
居宅介護サービス計画費	1,945	25,542
福祉用具購入費	34	1,247
住宅改修費	19	1,360
高額介護サービス費等	1,375	14,506
高額医療合算介護サービス費	109	3,488
特定入所者介護サービス費	650	20,465
審査支払手数料	7,297	462
計	10,088	555,117

※審査支払手数料は給付件数計から除く

●国民年金適用状況 (令和5年11月30日)

第1号被保険者	第3号被保険者	任意加入被保険者	合計
290 人	144 人	3 人	437 人

●国民年金給付状況 (令和4年度)

区分	給付件数	金額(千円)
新法	老齢基礎年金	1,655
	障害基礎年金	91
	遺族基礎年金	2
旧法	5年年金	2
	老齢年金	20
	通算老齢年金	13
	障害年金	2
計	1,785	1,253,266

●国民健康保険加入状況 (令和5年3月31日)

総世帯数	被保険者世帯数	加入率
2,046	582	28.45 %
総人口	被保険者数	加入率
3,731	832	22.30 %

●生活習慣病予防の受診状況

●生活習慣病予防の検診状況																								
区 分	胃がん検診					大腸がん検診			乳がん検診				子宮がん検診				肺がん・結核検診			特定健康診査				
	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率(%)	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)		
令和2年度	680	128	153	122	23.4	757	251	33.2	427	92	111	81	28.6	464	86	98	68	25.0	757	243	32.1	688	395	57.4
令和3年度	391	101	85	67	30.4	467	149	31.9	248	74	69	48	38.3	279	67	70	46	32.6	467	156	33.4	659	379	57.5
令和4年度	349	85	98	67	33.2	423	165	39.0	222	69	70	48	41.0	255	70	69	49	35.3	423	165	39.0	634	397	62.6

※がん検診の受診率対象者は40～69歳(胃がんは50～69歳、子宮がんは20～69歳)で、胃がん乳がん子宮がん検診は2年毎の受診率で算出。
※対象者は国保被保険者。

●国民健康保険給付状況 (令和4年度)

区分	給付件数	金額(千円)
療養給付費	療養給付費	11,566
	療養費	104
	審査支払手数料	11,589
高額療養費	813	48,858
出産育児費	0	0
葬祭費	7	210
計	12,490	338,760

※審査支払手数料は給付件数計から除く

●後期高齢者医療加入状況 (令和5年3月31日)

総人口	被保険者数	加入率
3,731	1,018	27.28 %

●後期高齢者医療療養給付状況 (令和4年度)

区分	給付件数	金額(千円)
療養給付費	入院	976
	入院	12,799
	調剤	8,344
	食事療養	893
	生活療養	49
療養費等	101	2,308
高額療養費	2,121	43,484
高額介護合算療養費	105	1,398
計	25,388	1,042,251

※北海道の後期高齢者医療「事業概要書」より



令和6年1月19日開催
暑寒大学「ダンス教室」

9. 生活環境

●上水道・簡易水道

(令和5年3月31日)

	増毛上水道	阿分簡易水道	雄冬簡易水道	岩老簡易水道	別荘簡易水道
事業開始年月日	S26.12.1	S49.6.17	S39.11.1	S39.11.1	S57.9.1
計画給水人口(人)	5,500	600	460	230	930
現在給水人口(人)	3,313	155	31	17	302
給水戸数(戸)	1,838	89	18	9	178
施設内容					
導水管延長(m)	6,007	-	575	641	1,748
配水管延長(m)	52,862	3,961	1,473	557	6,885
送水管延長(m)	2,945	520	-	-	-
配水池容量(m ³)	1,310	64	70	17	183
契約件数(件)	1,992	96	42	21	229
消火栓(本)	80	9	4	3	10
年間総配水量(m ³)	597,690	11,424	2,688	3,877	31,641
年間有収水量(m ³)	486,211	10,327	2,627	3,749	24,641
有収率(%)	81.35	90.40	97.73	96.70	77.88
給水能力(m ³ /日)	3,000	108	69	35	270
排水量					
一日平均(m ³)	1,638	31	7	11	87
一日最大(m ³)	2,118	44	13	29	154
料金					
基本水量	8	8	8	8	8
基本料金	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
超過料金	230	230	230	230	230
メーター使用料	400	400	400	400	400

※料金は、家事用(消費税含)で表示(単位:千円)。メーター使用料は13mmとして記載。

●公共下水道

区 分	全体計画	認可計画
施工年度	平成6～令和11年	令和2～6年
計画区域面積	133.4 ha	109.6 ha
計画処理人口	2,360 人	2,470 人
排除方式	分流式	分流式
管渠延長(汚水)	24,307 m	23,847 m
ポンプ場	1ヶ所	1ヶ所
処理場	処理方式 計画能力 敷地面積	オキシデーションディッチ法 晴天時最大 1,740 m ³ /日 206 アール

●公共下水道接続状況

(令和5年3月31日)

完 成 予 定	令和11年
下水道接続戸数	1,031 戸
下水道接続率	78.3 %
下水道処理人口	1,866 人
下水道普及率	62.3 %

●ごみ・し尿処理状況(排出・収集量)

年 度	ご み	し 尿
令和2年度	1,002 t	2,028 kl
令和3年度	958 t	1,940 kl
令和4年度	890 t	1,886 kl
処理方法 及び 収集種別	埋立処理 405 t その他 485 t	生し尿 932 kl 浄化槽 954 kl 汚泥

●浄化槽設置状況

(令和4年度)

区 分	単 独 浄化槽	合 併 浄化槽	計
5～10人槽	170	129	299
11～50人槽	33	8	41
51人槽以上	2	16	18
計	205	153	358



●公営住宅

(令和5年12月1日)

区 分	戸数	入居戸数
公 営 住 宅	228	205
改 良 住 宅	44	42
特定公共賃貸住宅(単身)	18	18
単 独 住 宅	15	15

●火葬場使用状況

区 分	ましけ 葬 苑	町 外
令 和 2 年 度	37	41
令 和 3 年 度	42	42
令 和 4 年 度	48	48

●畜犬登録状況

区 分	登録数
令 和 2 年 度	186
令 和 3 年 度	169
令 和 4 年 度	160



令和5年5月23日 花いっぱい運動



令和5年5月18日 クリーン作戦

●犯罪発生件数

区 分	窃盗犯	粗暴犯	知能犯	凶悪犯	その他 刑法犯
令和3年	3	1	0	0	1
令和4年	5	1	1	1	2
令和5年	0	1	0	0	1

●警察官駐在所

(令和5年12月1日)

駐在所名	住 所
留萌警察署 増毛駐在所	増毛町暑寒町1丁目6番地
留萌警察署 別荘駐在所	増毛町別荘41番地の17
留萌警察署 舎熊駐在所	増毛町舎熊342番地

●道路延長

(令和5年12月1日)

区 分	路線数	実延長(km)	舗装済延長	舗装率(%)
町 道	213	162.90	80.46	49.39
一般国道	1	33.51	33.51	100.00
主要道道	1	19.87	19.87	100.00
一般道道	2	11.43	9.95	87.05
計	217	227.71	143.79	63.15

※一般国道 (231号線)

※主要道道 (増毛稲田線94号)

※一般道道 (増毛港線301号、暑寒別公園線546号)

●交通事故件数

区 分	人 身 事 故	負 傷 者	死 者	物 損 事 故
令和3年	2	3	0	88
令和4年	3	3	1	81
令和5年	2	3	0	84

●バス利用状況

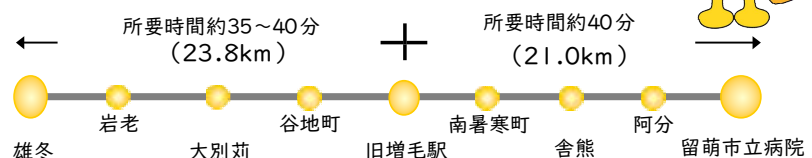
沿岸バス本社調

年 度	路 線 等	
	留萌別荘線 (※1)	特急まじけ号 (※2)
令和2年度	93,592	1,202
令和3年度	89,391	1,261
令和4年度	88,002	1,642

※1 留萌-増毛-大別荘-雄冬間の乗降者数

※2 札幌-増毛間の乗降者数

●バス経路 (雄冬～旧増毛駅～留萌市立病院)



●酒別消費量

留萌小売酒販組合調 (令和4年度)

種 類	消費量 (%)	割 合 (%)	1人当 たり (%)
清 酒	7,352	7.65	2.21
合 成 清 酒	39	0.04	0.01
焼 酎	9,564	9.95	2.88
ビ ー ル	41,556	43.22	12.49
発 泡 酒	5,360	5.57	1.61
果 実 酒	1,952	2.03	0.59
甘 味 果 実 酒	53	0.06	0.02
ウ イ ス キ ー	876	0.91	0.26
ブ ラ ン デ ー	169	0.18	0.05
ス ピ リ ッ ツ	6,120	6.37	1.84
リ キ ュ ー ル	19,726	20.52	5.93
そ の 他	3,382	3.50	1.02
計	96,149	100.00	28.91

※1人当たりの消費量については、当該年の有権者数(9月1日現在)により算出

●ロードヒーティング状況

(令和5年12月1日)

路 線 名	車道部(m)
2 丁 目 通 線	14.25
4 丁 目 通 線	0.00
弁 天 通 線	92.10
第一火防線通線	115.60
役 場 通 線	145.40
雄冬1号道路線	39.10
計	406.45

※弁天通線は、一部2丁目通り交差点部20.0mを含む。

●たばこ消費量

年 度	消費量 (千本)	1人当 たり (本)
令和2年度	6,014	1.70
令和3年度	6,139	1.85
令和4年度	5,949	1.79

※1人当たりの消費量については、当該年の有権者数(9月1日現在)により算出しています。

●預貯金及び貸出金残高

(令和5年3月31日 単位:千円)

預 貯 金 高			貸 出 金 高			
流動性・当座性 預 貯 金	定期性 預 貯 金	計	割引手形	手形貸付	そ の 他	計
9,520,364	13,579,123	23,099,487	0	1,655,456	4,062,292	5,717,748

●車両等種類別台数

(令和5年3月31日)

(令和5年3月31日)																								
区 分	乗 用 車			乗 合 用			貨 物			特 種 (殊) 用 途				軽 自 動 車			二 輪 車			原 付			総 計	
	普 通 車	小 型 車	計	普 通 車	小 型 車	計	普 通 車	小 型 車	被 け ん 引 車	計	特 殊 車	大 型 特 殊 車	小 型 特 殊 車	計	乗 用 車	貨 物 車	計	小 型 二 輪	軽 二 輪	計	一 種	二 種		計
	台数	697	722	1,419	1	8	9	94	157	3	254	70	64	226	360	560	306	866	55	90	145	73		13

10. 教育



令和5年8月9日開催

キッズ体験隊「和楽器に触れてみよう」



令和5年9月11日開催 日本語教室

〈こども園〉

平成31年4月より、増毛幼稚園とあつぷる保育所が統合し「ましけ町立認定子ども園」となりました。

〈小学校〉

平成27年3月に別荘小学校と阿分小学校、28年3月に舎熊小学校が閉校となり、現在は増毛小学校のみとなっています。

また、増毛小学校は、平成24年4月に、北海道遺産に指定されている昭和11年築の木造校舎から、旧増毛高等学校（平成23年3月閉校）校舎へ移転しています。

〈中学校〉

平成20年4月に増毛第二中学校が閉校となり、現在は増毛中学校のみとなっています。

●こども園

（令和5年5月1日）

園 名	学級数	教職員数	園 児 数			園舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
認定こども園 あつぷる	5	27	32	40	72	鉄 筋 コンクリート	南島中町2丁目35番地2	平成 31

●小学校

（令和5年5月1日）

校 名	学級数	教職員数	児 童 数			校舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
増毛小学校	10	31	66	62	128	鉄 筋 コンクリート	南暑寒町2丁目38番地 （平成23年 校舎移転）	明治 11

●中学校

（令和5年5月1日）

校 名	学級数	教職員数	生 徒 数			校舎構造	所 在 地	設置年
			男	女	計			
増毛中学校	5	23	47	30	77	鉄 筋 コンクリート	南暑寒町5丁目123番地 （平成12年 新築）	昭和 33

●高等学校通学費補助状況

年 度	補 助 人 数	補助総額 （千円）
令和2年度	71	5,753
令和3年度	57	4,998
令和4年度	51	4,417

〔平成28年 教育委員会連第1号〕

●奨学金貸与状況

年 度	大 学 生	専 門 学 校 生 短 大 生	高 校 生	貸 与 総 額 （千円）
令和3年度	5	4	2	2,664
令和4年度	5	8	2	3,960
令和5年度	3	8	3	3,492

〔昭和34年 条例第20号〕

●中学卒業後の状況

年 度			男	女	計
令和2年度 卒業			9	11	20
令和3年度 卒業			12	14	26
令和4年度 卒業			17	8	25
4 年 度 内 訳	進 学	道 内	16	8	24
		道 外	-	-	-
	専 門 学 校 等	道 内	-	-	-
		道 外	1	-	1
	就 職	町 内	-	-	-
		町 外	-	-	-
	無 業		-	-	-

生涯学習の取組みとして、町民全般では「町民スクール」の開催、女性領域では「さくらコミュニティ学級」の運営、高齢者領域では「暑寒大学」の運営など、様々な事業を行っています。

また、重要文化財の旧商家丸一本間家や総合交流促進施設「元陣屋」、体育館や屋内グラウンドなどの文化・スポーツ関係施設の充実を図り、町民一人ひとりが心豊かな生活を送れるよう努めています。



令和5年11月10日開催

暑寒大学・こども園 交流会

11. 各種施設（利用状況）

●社会教育・体育施設等

施設名	構造・規模	所在地	設置年月日
増毛町立体育館	鉄骨造一部2階建 1,586.59㎡	南島中町3丁目 56番地の1	昭和48.12.22
増毛町文化センター	鉄筋コンクリート2階建 2,215.45㎡	南島中町2丁目 25番地	昭和52.2.1
増毛町温水プール	鉄骨造一部2階建 1,002.2㎡	南島中町3丁目 56番地の1	昭和55.5.1
暑寒別岳スキー場	7コース総延長 6,430m	暑寒沢 527番地の1外	昭和55.11.1
テニスコート	全天候型4面 3,576.96㎡	別荘459番地外	昭和60.5.1
創作の館	木造平屋建 129㎡	南永寿町2丁目 77番地の1	昭和63.6.27
屋内グラウンド	鉄骨造平屋建 2,503.33㎡	南暑寒町5丁目	平成2.4.1 平成4.10.12増築
増毛町総合交流 促進施設「元陣屋」	鉄筋コンクリート2階建 1,794㎡	永寿町4丁目 49番地	平成8.4.1
旧商家丸一本間家	木骨石造2階建（一部 3階建）1,237.83㎡	弁天町1丁目 27番地	平成12.4.1
パークゴルフ場	27ホール 12,644.25㎡	暑寒町1丁目 暑寒別川右岸	平成14.4.1 平成29.6.16増設

●町立体育館

年 度		開 館 日 数	利用者数
令 和 2 年 度		299	5,250
令 和 3 年 度		307	5,737
令 和 4 年 度		306	4,405
4 年 度 内 訳	一 般 利 用	小 学 生	209
		中 学 生	531
		高 校 生	65
		一 般	382
	小 計		1,187
	団 体 利 用	剣 道	1,462
		ミニバレー	223
		サ ッ カ ー	1,312
		テ ニ ス	96
そ の 他		125	
小 計		3,218	

●元陣屋

年度	開館日数	利用者数
令和2年度	307	5,139
令和3年度	305	5,167
令和4年度	308	6,173
4年度内訳	展示室等入館者	1,497
	図書室	3,974
	婦人文化室	299
	郷土文化伝承室	403

●屋内グラウンド

年度	開館日数	利用者数
令和2年度	261	6,461
令和3年度	307	5,615
令和4年度	306	6,821
4年度内訳	小学生	4,201
	中学生	776
	高校生	77
	一般	1,767

●旧商家丸一本間家

年度	開館日数	利用者数
令和3年度	119	2,745
令和4年度	174	2,745
令和5年度	175	4,343
5年度内訳	小学生・中学生 高校生 一般	133
		37
		4,173

●温水プール

年度	開館日数	利用者数
令和3年度	106	2,352
令和4年度	124	2,625
令和5年度	124	2,339
4年度内訳	中学生以下 高校生・大学生 一般	1,084
		43
		1,212

●文化センター及び「ら・さんて」

年度	文化センター	ら・さんて
令和2年度	17,734	3,622
令和3年度	29,532	3,306
令和4年度	23,053	5,383

※「ら・さんて」は、宿泊施設内にある健康増進施設

●創作の館

年度	開館日数	利用者数
令和2年度	47	210
令和3年度	28	101
令和4年度	67	62

●その他の施設等

年度	岩尾温泉	スキー場	ゴルフ場	キャンプ場	登山
令和2年度	16,812	113,146	6,406	5,245	3,119
令和3年度	11,565	114,093	6,998	3,953	2,886
令和4年度	16,572	103,986	6,924	5,608	3,474

※スキー場は、リフト乗車の延べ人数



令和6年2月11日開催 スキー場フェス

12. 財 政

●一般会計予算決算

<歳入>

(単位:千円)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	6月補正後予算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算
町 税	365,668	372,168	369,292	355,313	337,718	352,482	352,750	366,348
地 方 議 与 税	40,000	45,686	50,000	50,525	49,100	51,089	53,200	53,599
利 子 割 交 付 金	600	305	800	364	600	262	600	159
配 当 割 交 付 金	900	1,000	900	884	900	1,334	900	1,154
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	800	654	500	1,079	1,100	1,616	1,300	925
法 人 事 業 税 交 付 金	-	-	1,000	1,529	1,200	3,814	3,000	5,812
地 方 消 費 税 交 付 金	84,000	82,352	106,000	101,160	104,000	107,690	103,000	104,432
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,100	1,547	1,000	1,913	1,000	1,959	1,400	1,939
自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,000	4,707	-	-	-	-	-	-
環 境 性 能 割 交 付 金	-	1,359	3,000	2,942	2,700	2,950	4,000	3,768
地 方 特 例 交 付 金	500	9,132	1,200	1,929	3,100	11,241	800	1,148
地 方 交 付 税	2,357,708	2,400,662	2,449,711	2,491,878	2,412,365	2,704,795	2,461,090	2,669,596
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	500	-	500	-	500	-	500	-
分 担 金 及 び 負 担 金	119,749	90,956	119,462	94,187	108,454	88,908	108,565	92,412
使 用 料 及 び 手 数 料	116,599	117,231	134,711	130,168	134,232	127,357	135,809	129,246
国 庫 支 出 金	148,178	203,966	299,342	951,136	223,121	582,720	288,334	450,761
道 支 出 金	233,232	243,142	236,503	233,173	221,247	225,456	229,299	241,675
財 産 収 入	15,126	18,534	13,990	17,272	14,441	20,491	14,471	18,617
寄 附 金	300,060	320,719	300,060	511,812	500,060	558,948	600,060	533,573
繰 入 金	155,000	252,081	266,065	432,617	391,455	355,057	540,680	563,422
繰 越 金	10	51,570	10	26,107	10	34,878	10	102,666
諸 収 入	95,070	126,416	76,254	95,199	91,897	98,852	111,832	152,365
町 債	353,200	455,463	645,700	844,450	323,800	394,326	204,400	201,315
計	4,393,000	4,799,650	5,076,000	6,345,637	4,923,000	5,726,225	5,216,000	5,694,932

<歳出>

(単位:千円)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	6月補正後予算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算
議 会 費	48,438	47,442	48,449	48,663	49,780	47,801	48,971	48,685
総 務 費	559,254	654,307	538,554	1,187,954	855,010	1,167,602	972,354	1,177,301
民 生 費	739,474	771,302	878,555	885,354	963,573	1,041,663	1,146,102	1,206,542
衛 生 費	338,494	388,179	411,217	505,775	448,453	505,451	462,767	458,506
労 働 費	8,209	6,871	8,582	8,876	8,679	13,509	9,005	11,524
農 林 水 産 業 費	353,200	298,304	349,795	316,557	298,840	307,369	301,274	319,007
商 工 業 費	116,742	136,138	135,966	182,109	110,182	160,878	161,520	175,777
土 木 費	396,658	475,351	829,858	831,738	372,424	491,826	378,956	422,752
消 防 費	27,333	118,109	30,315	460,103	35,058	37,059	49,221	47,395
教 育 費	289,783	320,430	327,080	347,139	351,872	327,097	331,315	334,966
災 害 復 旧 費	2,000	23,263	2,000	-	2,000	1,038	2,000	462
公 債 費	671,127	669,448	668,464	666,122	598,704	598,605	538,048	537,422
職 員 給 与 費	834,288	835,959	839,165	816,144	820,425	808,938	806,467	780,075
予 備 費	8,000	-	8,000	-	8,000	-	8,000	-
計	4,393,000	4,745,103	5,076,000	6,256,534	4,923,000	5,508,836	5,216,000	5,520,414

●特別会計等

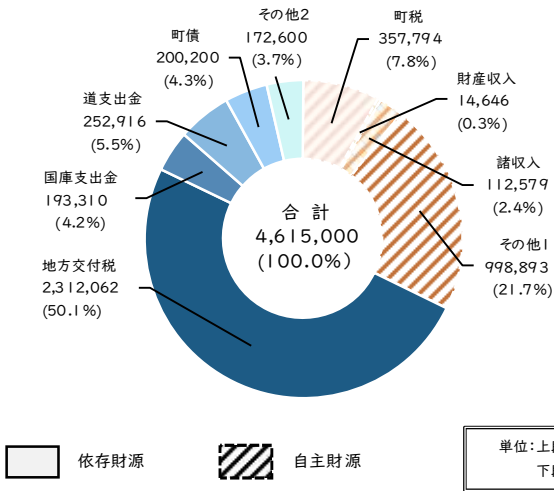
(単位:千円)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
国 民 健 康 保 険	557,054	514,415	536,633	490,388	545,985	502,664	534,028	482,055
観 光 施 設 事 業	57,226	57,226	51,773	51,773	49,312	49,312	59,349	59,349
診 療 所 事 業	227,305	227,305	294,550	264,550	269,671	269,671	251,520	251,520
公 共 下 水 道 事 業	262,844	262,844	-	-	-	-	-	-
介 護 保 険	943,961	920,095	966,866	936,588	937,679	870,857	916,548	845,287
後 期 高 齢 者 医 療	87,028	86,803	89,643	89,527	88,820	88,716	88,946	88,879
港 湾 整 備 事 業	17,553	17,553	20,129	20,129	17,257	17,257	20,162	20,162
福 祉 施 設 整 備	-	-	-	-	764,076	764,076	1,730,683	1,730,683
計	2,152,971	2,086,241	1,959,594	1,852,955	2,672,800	2,562,553	3,601,236	3,477,935
水 道 事 業	147,420	135,587	146,456	135,651	141,774	129,152	133,799	121,488
簡 易 水 道 事 業	19,717	17,976	19,198	17,238	17,771	18,233	17,395	17,591
公 共 下 水 道 事 業	-	-	143,829	133,682	139,835	132,799	139,671	136,011
砕 石 事 業	272,808	271,100	301,910	299,924	326,634	323,930	272,724	285,559
計	439,945	424,663	611,393	586,495	626,014	604,114	563,589	560,649

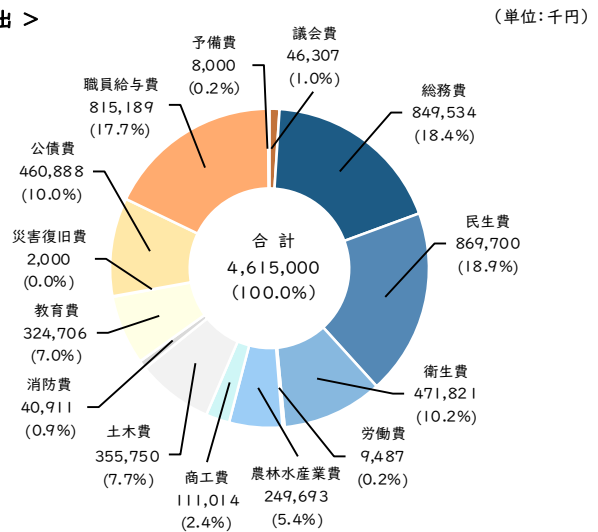
※水道・簡易水道・公共下水道事業及び砕石事業については収益的収支のみ(税込)

●令和5年度当初予算 一般会計(骨格予算)

< 歳入 >



< 歳出 >



●指数等の状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基準財政需要額	2,732,052	2,886,118	2,878,595
基準財政収入額	431,646	411,719	425,436
標準財政規模	2,904,516	3,070,573	3,000,132
基金積立金現在高	2,945,194	3,052,590	3,284,390
地方債現在高	4,247,057	4,570,580	5,371,190
経常収支比率(全体)	86.0	76.5	75.5
起債制限比率(3年)	7.0	6.1	4.9
公債費負担比率	17.0	13.9	12.2
財政力指数(3年)	0.156	0.152	0.150
ラスパイレス指数	95.2	95.5	95.9

※決算統計より。地方債現在高は一般会計及び特別会計の合計額

●町税の内訳

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町民税個人	152,748	151,869	153,544
町民税法人	17,347	22,815	24,355
固定資産税	141,317	130,409	140,021
軽自動車税	8,630	8,702	9,424
町たばこ税	35,271	38,687	39,005
計	355,313	352,482	366,348

●健全化判断比率

区 分	実質 赤字比率	連結実質 赤字比率	実質 公債費比率	将来 負担比率
増毛町	-	-	8.2	-
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

該当なしは、「-」で表示

●ふるさと納税寄附金

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件 数	36,488	44,110	36,753
金 額	507,374	558,318	528,570

13. 町民の暮らし

●人口・・・3,725人 ●世帯数・・・2,107戸 R5.12.31	●人口密度 10.1人/km ² (総面積 369.71 km ²) R5.12.31	●世帯人口 1.8人 1世帯当たり R5.12.31	●出 産 6人 1ヶ月に0.5人 令和5年	●死 亡 103人 1ヶ月に8.6人 令和5年
●結 婚 9組 1ヶ月に0.8組 令和5年	●離 婚 8組 1ヶ月に0.7組 令和5年	●転 入 60人 1ヶ月に5人 令和5年	●転 出 120人 1ヶ月に10人 令和5年	●町 税 106,559円 町民有権者1人当たり 令和5年度
●町議会議員 10人 人口372.5人に1人 R5.12.31	●町 職 員 117人(消防職員を除く) 人口32人に1人 R5.12.31	●消防職員 109人(団員含む) 人口34人に1人 R5.12.31	●教 職 員 54人(小・中学校) 児童生徒4人に1人 R5.5.1	●児童生徒 205人(小・中学校) 1世帯に0.1人 R5.5.1
●救急出動 250件 1ヶ月に20.8件 令和5年	●交通事故 86件 1ヶ月に7.2件 令和5年	●乗 用 車 1,979台 1世帯に0.9台 R5.3.31	●給 水 量 379ℓ 給水人口1人1日当たり 令和4年度	●ごみ収集量 890t 1日に2.4t 令和4年度

増毛町のあゆみ

1706	宝永	3	松前藩藩士・下国氏の商場知行地となる。
1751	宝暦	元	松前の商人、村山伝兵衛(能登国出身)が松前藩より増毛場所を請負。この地に出張番屋を設け交易始まる。
			これが増毛の地に和人が定着した始まりである(開基の起源)。運上屋氏神弁天社建立。
1794	寛政	6	マシケ運行屋(後の駅逓)が設けられる。
1806	文化	3	幕史・遠山、村垣北方調査で増毛巡検。近藤重蔵一行増毛に来行。増毛場所に馬匹初めて配送される。
1856	安政	3	秋田藩元陣屋設けられる。
1857		4	浜益～増毛間の山道竣工。
1868	明治	元	箱館府に属する。
1869		2	増毛郡、留萌郡共に山口藩の支配となる。
1871		4	山口藩の支配が終わり、開拓使の管轄となる。
1872		5	宗谷支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。増毛派出病院開設。
1873		6	留萌支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。
1874		7	増毛郡戸長役場設置。
1875		8	留萌支庁を廃止し、札幌本庁の直轄となる。増毛郵便局置かれる(M22 郵便電信局に改称)。私設火消組創設(～M27)。
1876		9	漁場持制を廃止、一般漁民への漁場・昆布場割渡し始まる。
1877		10	増毛・別荘に戸長役場できる。辨天・稲葉・野塚・永壽・七源・畠中・暑寒の7町で市街地を形成する。
1878		11	増毛小学校創立。札幌警察署増毛分署開設(M15 増毛警察署として独立)。
1879		12	大小区制廃止、郡区町村を編制。公立増毛病院置かれる。留萌郡役所設置(翌年開所)。
1880		13	永寿町2丁目で大火、100 余戸焼失(6 月 24 日)。
1881		14	留萌郡役所、増毛に移り増毛郡役所となる(留萌・天塩・中川・上川・苫前・増毛6郡を管轄)。
1882		15	開拓使が廃止、道内が函館・札幌・根室の3県に分けられ増毛郡は札幌県に属す。増毛治安裁判所開設。
			別荘小学校創立(H27.3 閉校)。朱文別沢にて水稻試作。丸一本間(現在の国稀酒造)創業。
1883		16	阿分小学校(H27.3 閉校)、舎熊小学校創立(H28.3 閉校)。暑寒沢でリンゴ植付け。増毛に遊郭設置許可。
1885		18	札幌県増毛監獄支署できる。
1886		19	三県・北海道事業管理局を廃止し、北海道庁設置される。増毛水産組合創立。三井銀行増毛出張所開店。
1887		20	暑寒沢に開拓者入地。
1888		21	増毛郡役所焼失、弁天町3丁目に新築移転。増毛～小樽間定期船運行開始。
1889		22	治安裁判所を増毛区裁判所に改称(S22 旭川地方裁判所増毛支部と改称)。信砂に開拓者入地。
			増毛郵便電信局設置され、電信事務開始(M36 増毛郵便局に改称)。雄冬事件(海馬島付近の漁獲争奪)発生。
1890		23	鯨(ニシン)漁獲高6万石に達す。増毛灯台初点(12 月)。浜益郡と増毛郡の境界を「ラファイ」に決定する。
1891		24	雨竜～信砂間の山道竣工し、仁奈良駅逓設置(M36.11 廃止)。競馬場開設。この頃から明治 36 年頃まで「鯨百万石時代」。
1892		25	1丁目暑寒橋流失、3丁目に架替。雄冬小学校(H14.3 閉校)、歩古丹小学校創立(S46.3 閉校)。
1893		26	増毛～留萌間客馬車開通。永寿町2丁目で火災発生、30 余戸焼失(12 月 8 日)。第二火防線に水道敷設。
1894		27	増毛～留萌間道路工事着工。私設火消組合解散し、増毛消防組合に改組。
1895		28	武好駅逓設置。
1897		30	増毛税務署開庁。道庁官制改正により増毛郡役所を廃止し増毛支庁設置。岩老小学校創立(S62.3 閉校)。
1898		31	小樽銀行増毛支店開設。雄冬事件の入会漁場裁定。
1900		33	一級町村制施行、増毛町役場開設。第1回町議会議員選挙執行。増毛病院が町立となる。信砂小学校創立(H18.3 閉校)。
			増毛産業組合設立。信砂御料農地への移住・開拓始まる。
1902		35	増毛町農会設立。増毛土木派出所開所(～T3)。武好駅逓新築。
1903		36	別荘谷地町の大火、70 数戸類焼(5 月)。
1905		38	畠中町4丁目の遊郭大火、100 戸類焼(11 月 13 日)。
1906		39	増毛と札幌・小樽間に電話開通。

1907	明治	40	信砂御料小学校創立(S52.3 閉校)。増毛支庁舎焼失(5 月 25 日)。内務大臣・原敬来町。増毛漁業組合設立。
			大暴風雪・波浪で町内被害甚大(12 月 6 日)。
1914	大正	3	増毛支庁を留萌に移行、留萌支庁と改称。
1916		5	増毛市街に電燈つく。暑寒沢でりんごのデリシャス種試作。
1919		8	暴風のため鯨漁船遭難し 45 人溺死(4 月 12 日)。
1920		9	第 1 回国勢調査。新信砂小学校創立(S49.3 閉校)。
1921		10	留萌～増毛間の鉄道開通(11 月 5 日)。
1928	昭和	3	増毛港第 1 期漁港工事完成。
1929		4	別苅村古茶内 120 町歩の造田。
1933		8	デリシャス種を東京へ初出荷。
1936		11	増毛尋常小学校新校舎(旧増毛小学校校舎)落成。笹沼の農地解放。
1940		15	町立増毛実科高等女学校創立(S24.3 閉校)。北洋無尽(株)代理店(現在の北洋銀行)営業開始。
1941		16	増毛町森林組合設立(S27 法人登録)。太平洋戦争始まる。
1943		18	増毛町農業会設立。
1945		20	米軍機による雄冬村空襲(7 月 15 日)。太平洋戦争・日中戦争終結。樺太からの引揚げ船・小笠原丸殉難(8 月 22 日)。
1946		21	信砂川鉄橋で列車転覆事故(3 月 14 日)。増毛灯台全焼。中歌海水浴場開設(～S48)。
1947		22	新学制施行により新制小学校・中学校の義務教育発足。増毛第一中学校(S33.3 廃校)・増毛第二中学校創立(H20.3 廃校)。
1948		23	旭川地方裁判所増毛支部廃止。信砂御料茶々沢で雪崩遭難 18 名死亡(3 月 6 日)。増毛病院道立移管。
			増毛実科高等女学校を町立増毛高等学校と改称(S29 道立移管)。増毛町農業協同組合設立。町広報初号発刊(12 月)。
1949		24	新增毛灯台完成。増毛漁業協同組合設立。映画「ジャコ万と鉄」公開。
1950		25	増毛第一中学校から別苅中学校(S33.3 閉校)・岩老中学校(S62.3 閉校)・雄冬中学校(H14.3 閉校)が分離独立。
			信砂御料中学校創立(S52.3 閉校)。増毛高等学校定時制課程設置(～S57)。
1951		26	公営木造住宅 10 戸建設。増毛町農業委員会設立。増毛町社会福祉協議会設立。
1952		27	雄冬漁港着工。雄冬灯台設置。増毛町教育委員会設置。鯨回遊減少。
1953		28	岩老漁港着工。増毛町商工会設立。
1954		29	増毛高校道立移管(H23.3 閉校)。台風 15 号による大被害(9 月 26 日)。留萌信用金庫増毛支店開店。町内自治会結成。
1955		30	市街地上水道竣工。増毛町土地改良区設立(～S57 解散)。国勢調査で人口 16,768 人と最高を記録。
1956		31	私立ルンビニ園創立(S35 増毛ルンビニ幼稚園開園～S54.3 閉園)。増毛水族館開館(S39 閉館)。
			メルボルン五輪レスリングで池田三男が金メダル、浅井正と桂本和夫が入賞。
1958		33	増毛中学校創立(増毛第一中学校と別苅中学校統合)。留萌～札幌間国道 231 号線、別苅より着工。別苅漁港着工。
1961		36	道立増毛高等学校が全焼(翌年に校舎新築)。
1962		37	暑寒別岳一円が道立自然公園(第 8 番目)に指定。国道 231 号岩尾～雄冬間着工(S38 完成)。
1963		38	町立養護老人ホーム明和園新築落成。えび籠漁業が正式に制度化。
1964		39	山小屋「暑寒荘」完成。
1965		40	町営碎石事業開始(信砂)。別苅小学校新校舎落成(H29 取壊)。
1966		41	別苅保育所開所(H9.3 閉所)。
1967		42	開道百年記念に厳島神社が遺跡指定。道営署別地区パイロット事業着手(S52 撤退)。舎熊小学校舎全面改築(H26 取壊)。
			信砂へき地保育所開所(H9.11 閉所)。
1968		43	町営碎石事業を暑寒沢村黒岩地区に移す。
1969		44	町総合庁舎新築、町立暑寒別ユースホステル新築落成(S58 暑寒沢に移転)。舎熊保育所開所(H9.3 閉所)。
1970		45	拓殖銀行増毛支店閉鎖。増毛町開基 220 年・町制施行 70 周年、総合庁舎落成記念式典挙行。増毛音頭作成。
1971		46	増毛電報電話局開局(ダイヤル式切替)。信砂川サケマスふ化場設置。増毛町概史発刊。暑寒別橋(1 丁目通)完成。
1972		47	救急業務開始。町章制定。第 1 回増毛町秋味まつり開催(～H27)。



北海道遺産の旧増毛小学校（昭和 11 年築）

1973	昭和	48	道立水産ふ化場増毛支場落成。信砂御料塵芥処理場完成。町立体育館開館。林内科医院開業(～H14)。
1974		49	増毛劇場雪害により破損。増毛町史発刊。暑寒海水浴場開設(～H22)。消防創立 100 周年記念式典。
1975		50	上水道施設新設(浄水場・取水施設)落成。増毛市街保育所開所(H8.3 閉所)。第 1 回増毛町えびまつり開催(～H23)。
1976		51	道道増毛稲田線路線認定。増毛町の「色」「花」「木」「鳥」決定。
1977		52	「増毛町町民の誓い」制定(2 月 1 日)。生活改善センター(信砂・雄冬)落成。コミュニティセンター・勤労青少年ホーム落成。 大相撲新十両、琴若関の市街パレード実施。第 1 回増毛町冬まつり開催。
1978		53	増毛小学校開校 100 周年。雄冬・岩老地区電話自動化(道内最後)。増毛駅車扱貨物取扱廃止。 ましけ墓苑落成。増毛町民グランド設置。
1979		54	漁村センター落成。増毛幼稚園開園(H31.3 閉園)。スクールバスかもめ号初運行。温水プール設置。
1980		55	増毛町開基 230 年・町制施行 80 周年記念式典挙行。太陽熱・風力発電の自然エネルギー実用化。 暑寒別岳スキー場開設。特別養護老人ホーム落成。
1981		56	町立岩尾公衆浴場開業。小水力発電実用化。町立市街診療所開設。町立老人福祉センター落成。映画「駅 station」公開。 国道 231 号留萌-札幌間開通(11 月 10 日)。雄冬岬トンネル崩落(12 月 19 日)。
1982		57	阿分小学校新校舎落成。ミツバチによる受粉高配始まる。
1983		58	増毛町エネルギー科学館落成。リバーサイドパーク整備着工。清流橋完成。映画「魚影の群れ」公開。
1984		59	国鉄増毛駅無人化(2 月)。増毛町シーサイドホテル営業開始(～S62)。第 1 回増毛エネルギーフェスティバル開催(～S61)。
1985		60	バイオマス施設完成。道道稲田線開通(H2～通年供用)。
1986		61	アワビ中間育成センター運営開始。観光施設「陣屋展望台」開設。留萌南部森林組合設立。
1987		62	国鉄民営化。ホテル増毛営業開始。雄冬小中学校新校舎落成(岩老小中学校を統合)。増毛電報電話局廃止。 第 1 回日本海和トラウトトライアスロン大会開催(～H18)。さくらんぼ雨よけハウス初導入。
1988		63	リバーサイドパークフェスティバル開催。集中豪雨により信砂川氾濫し激甚災害指定(8 月 25 日)。創作の館設置。
1989	平成	元	増毛ゴルフ倶楽部増毛リンクスオープン。ましけグルメ'89 開催。きらら 397 の作付け始まる。町民スクール開始。
1990		2	明和園改築落成。町文化財に増毛厳島神社本殿(有形)、雄冬神楽(無形)を指定。屋内グランド落成。 増毛町開基 240 年・町制施行 90 周年記念式典挙行。暑寒別・天売焼尻国定公園指定(第 55 番目)。
1991		3	増毛第二中学校新校舎落成。JR留萌本線増毛～深川間ワンマン運転。市街地流雪溝完成。
1992		4	増毛～雄冬間定期航路閉航(4 月 30 日)。リバーサイドミュージックフェスタ開催。屋内グランド増築。 国道 231 号大別苅～歩古丹間新ルート開通(通年供用開始 10 月 22 日)。暑寒別岳スキー場ペアリフト増設。
1993		5	増毛ヘリポート開港。「広報ましけ」1000 号発行(6 月号)。町内の電話番号二桁化。 大別苅除雪ステーション落成。地籍調査事業開始(～H18)。りんご・洋梨ジュース製造。
1994		6	ニューオートキャンプ場オープン。増毛港フレジャスポット(ノルマリナましけ)供用開始。溪流の森完成。 増毛消防創設 120 周年記念式典挙行。市街地公共下水道事業着手。暑寒別川氾濫(5 月 27 日・8 月 17 日)。
1995		7	信砂小学校新校舎落成。増毛町保健センター「健康一番館」落成。国道 231 号増毛バイパス着工。
1996		8	増毛町総合交流促進施設「元陣屋」落成。増毛高等学校新校舎落成。住民票・印鑑証明自動交付機設置。 第 15 回全国消防操法訓練大会出場。
1997		9	防災行政無線放送開始。増毛(あつぷる)保育所開所(H31.3 閉所)。国道 231 号増毛バイパス完成(12 月 18 日)
1998		10	管理型一般廃棄物処分場供用開始。在宅介護支援センター開設。増毛町字界改正事業実施。
1999		11	雄冬岬展望台・岩石公園オープン。増毛中学校新校舎落成。豪雨により暑寒別川氾濫(7 月 28～29 日)。 暑寒別岳スキー場第 1 リフト開設(ペアリフト)。増毛町ホームページ開設。
2000		12	北海道有形文化財に旧商家丸一本間家指定(4 月開館)。増毛町下水道管理センター通水式(下水道供用開始)。 町制施行 100 周年記念式典挙行。多目的広場メモリアルパーク 100 落成。水産加工業で中国人研修生受け入れ。
2001		13	ごみ分別収集開始。北海道遺産に「駅前の歴史的建物群と増毛小学校」指定。
2002		14	南るもい農業協同組合発足。雄冬小中学校閉校。学童保育事業開始。
2003		15	ごみ処理の有料化実施。岩尾温泉「あったま～る」開業。町内(53 局圏内)で ADSL サービス開始。

2003	平成 15	留萌南部三市町任意合併協議会設立(留萌市・増毛町・小平町)。国の重要文化財に旧商家丸一本間家指定。
2004	16	ニシン豊漁。留萌南部三市町合併協議会設立(翌年解散)。台風 18 号の被害甚大(9 月 8 日)。
2005	17	国道 231 号日方泊トンネル全面開通。暑寒別ユースホステル閉館。
2006	18	「新增毛町史」発刊。信砂小学校閉校。ましけミクニ塾開講。第 20 回日本海和ロソ・トライアスロン国際大会閉幕。
2008	20	増毛第二中学校閉校。オーベルジュましけ開業。果樹類凍害。
2009	21	町立市街診療所大規模改修・医療機器の整備。舎熊小学校、旧第二中学校舎へ移転。
2010	22	町制施行 110 周年。増毛-留萌間鉄道開通 90 周年。
2011	23	道立増毛高等学校閉校。9 月集中豪雨による河川災害等。
2012	24	増毛小学校、旧増毛高校舎へ移転。増毛えび地酒まつり開催。別荘小学校開校 130 周年。町内で光回線サービス開始。
2013	25	舎熊小学校、阿分小学校開校 130 周年。屋内グラウンドに人工芝導入。
2014	26	道営農地整備事業、信砂地区で開始(翌年から朱文別・湯の沢・別荘地区開始)。
2015	27	別荘小学校、阿分小学校閉校。爆弾低気圧により秋サケ定置網損壊(10 月 2 日)。
2016	28	舎熊小学校閉校。増毛町秋の味まつり開催(秋味まつりから名称変更)。JR 留萌本線留萌～増毛間廃線(12 月 4 日)。
2017	29	公共ヘリポート廃止。健康運動施設「ら・さんて」オープン。増毛駅増築整備開始。
2018	30	彫刻家・五十嵐威暢氏製作「テルミヌスへの誓い」設置。増毛駅舎リ・ボーンセレモニー開催(4 月 22 日)。 北海道有形文化財に増毛厳島神社本殿と奉納絵馬 7 点指定。女優・倍賞千恵子講演会開催。 増毛春の味まつり開催(えび地酒まつりから名称変更)。北海道遺産に「増毛山道と濃昼山道」指定。 北海道胆振東部地震で町内震度 4、全域停電(9 月 6 日)。郷土の味覚を楽しむ会開催。
2019	31	認定こども園あつぷる開園。園児 81 人でスタート(4 月 10 日)。
	令和 元	北海道日本ハムファイターズ増毛町応援大使(西川遙輝、杉浦稔大選手)によるトークショー開催(11 月 19 日)。 66 年ぶりに群来。雄冬漁港が乳白色に染まる(3 月)。
2020	2	町制施行 120 周年。 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、増毛春の味まつりをはじめ多くの事業が中止、延期となる。
2021	3	国勢調査(令和 2 年速報)にて町内人口 4,000 人を割る。 増毛港に屋根付き岸壁完成。
2022	4	有償運送事業「あつぷるハイヤー」運行開始。 町立養護・特別養護老人ホーム明和園 新施設の完成(11 月 18 日)
2023	5	増毛春の味まつり・秋の味まつりが 4 年ぶりに開催。 有償運送事業「あつぷるハイヤー」土日祝日、夜間運行開始。



春の味まつり



秋の味まつり

フォトギャラリー（フォトコンテスト 2023 入選作品）



一般の部 入選 「増毛のまつりはこれからだ」(新田敏行さん)

一般の部 入選 「回想～夏の終わり」(長瀬紋子さん)



学生の部 入選 「みのりの秋」(新田すみれさん)

	● 町 章 限りない本町の発展を表現したもので、「増毛」の文字を形象化し、町民の団結と円満な明朗融和の精神を象徴しています。 ● 町名の由来 ニシンが群来ると海面一面に鷗が飛ぶところから、アイヌ語で「カモメの多いところ」という意味の「マシケイ」が転じたものであるといわれています。
---	--

● 町の花 / サクラ（オオヤマザクラ） バラ科サクラ属ヤマザクラの一種。 花弁が広く、淡紅色の花はヤマザクラより濃く美しく、新緑の山合いの中では、登山におとずれた人々の目を楽しませます。自然に恵まれた私たちの町を象徴する花です。	
● 町の木 / ナナカマド バラ科ナナカマド属の落葉小高木。 春には爽やかな香りを放ち、秋には真っ赤な実を結びます。材質は堅く燃えにくいので、カマドに七度入れても灰にならないことから、この名がついています。北国に生きる私たちの粘り強さを表すにふさわしい木です。	
● 町の鳥 / カモメ（ウミネコ） チドリ目カモメ亜科の海鳥。 他のカモメが冬鳥として飛来するのに対して、ウミネコだけは日本で繁殖します。白を基調とし青灰色と黒のコントラストが海の青さにマッチし、美しい海岸によく似合うカモメは、海を愛する増毛町民が大切にしている鳥です。	
● 町の色 / 青（vivid blue:ビビッドブルー さえた青）	

※町の色・花・木・鳥 [昭和51年11月3日(告示第30号)指定]

● 町民の誓い（昭和52年2月1日制定）

わたくしたちは、美しくそびえる暑寒の連峰と無限に広がる日本海にいだかれた増毛町の住民です。

わたくしたちは、風雪に耐えて郷土を開いた先人の遺業をしのび、輝かしい歴史と伝統を受け継いで、この町に住むことを誇りに思っています。

わたくしたちは、愛する郷土の発展を願い、より豊かな町づくりを目指して、ここに町民の誓いをさだめます。

1. からだを鍛え、仕事にはげみ、明るい町をつくります。
1. きまりを守り、力を合わせ、住みよい町をつくります。
1. 自然を愛し、環境をととのえ、美しい町をつくります。
1. 心ゆたかに、文化を高め美しい町をつくります。
1. 資源を生かし、未来をひらき、生きがいのある町をつくります。



〈かもめのマーシーくん〉

増毛町のマスコットキャラクターとして、公募により
平成2年に誕生しました。
平成26年11月に商標登録しています。

増毛町町政要覧資料編 令和6年

令和6年3月

発 行：北海道増毛町

編 集：企画財政課企画係

電 話：0164-53-1111（代表）

0164-53-1110（課直通）